

今泉正臣追悼！関西ブントの結成について

2018年7月17日 前田裕晤

新開純也殿 13日の「今泉追悼会」を計画実施して、ご苦労さんでした。

60年安保の京都の状況は、私自身が、関与した点もあって、いくつかの点を明確にしておきたいと思う。

6・15を巡り、党と学生細胞との対立が厳しくなり、当時私は立命大学院の日本史に同志社から変わってきていたが、その私に党中央より「大崎(私のペンネーム)の査問状」が再三にわたって届けられ、大学院細胞の師岡や松浦玲が「該当者なし」の返事を挙げ対立が厳しくなり、私は府学連細胞の方に回された。

各大学の細胞キャップ、京大・今泉、小川、府立医大・木村、同志社・浅川・佐藤浩一、他に・大谷大、後に竜谷大も参加して、各大学とも離党し共産党と決別することになった。

決別について、当時は明確な組織の建設とまでは入ってなく、そこを革共同の全国委員会(黒田寛一)らに「その主体性は何か」と問い詰められ、今泉・小川・北小路の3人は、全国委員会に加わることになった。

所が、他の大学や北大阪の労働者部隊は納得がいかず、京都駅前の法華倶楽部に、東京より姫岡・唐牛も参加して対応を協議したが、そこに今泉・小川・北小路の3人が、「全国委員会」の意見も言わせろと押しかけて来たが3人を排除し、関西の組織化を確認することになった。

これが関西ブントの成り立ちの第一歩である。

関西の理論的指導者として、佐藤浩一が表に出ることになったが、それは彼の父親が東京の「東村山署」の警察署長を辞任に追込むことになった。

排除された3人は、関西では誰も相手にせず、今泉は、尼崎の阪神医師協の医者として、小川は全国委員会に行くが、分派騒ぎを起こし、以後は消えてゆく、北小路は、革共同の広告塔の役割をするが、3人は故人になっていると思う。(注)

唯一、今泉だけが医者として、ハンセン病に関わり、各地のハンセン病の医者として今日に至った点は、評価されると思う。君も、薄々と、これらの事情を知っていたかもしれないが、事実を承知していて欲しい。(注)小川 登氏は在命

今泉正臣さん追悼

2018年6月23日 柳田 健

今泉正臣さんは、小川、北小路の3人並んで京大ブントを代表する3羽ガラスでした。

知的な笑顔、説得力ある語り口は印象的でした。

1967年の11.12羽田闘争の時、何を間違っかクロカンの革共同に行き、我関西ブントと激しく対立しました。機動隊をまえに突撃しようとする我々に前に立ちはだかり我々は彼らを蹴り飛ばして、隊列を進めました。革共同特有の部隊温存主義のせいでしょう。

その後68年に革共同を離れて、また仲良くなりました。クロカンのお先棒を担いだ小川さんのせいでしょう。その後、鹿児島県の鹿屋のハンセン氏病施設に身を置き医師として治療を続けました。私が鹿屋を訪ねた時、大変喜び歓迎してくれました。

京大ブンド育ての親として立派に生きた人に敬意を表し追悼したいと思います

賛同人・今泉正臣さんを追悼します

京大の先輩として山崎君に心を寄せる

10・8 山崎博昭プロジェクト 事務局

賛同人の今泉正臣(いまいずみ・まさおみ)さんが2018年5月25日、膵臓癌で逝去されました。享年83歳。

今泉さんは、山崎博昭君の京都大学の先輩として、山崎君の生と死にずっとこだわり、10・8 山崎博昭プロジェクトにご協力くださいました。今泉さんは、1934年生まれ。1953年京大医学部入学後、学生運動に加わり、医学連、京大同学会再建、日本共産党京大細胞解散から共産主義者同盟結成へと活動してきました。

60年安保闘争後は、革命的共産主義者同盟全国委員会に参加しました。

10・8 羽田闘争時には革共同関西地方委員会の責任者の一人でした。

ゆえあって1968年に革共同を離党しましたが、無党派の立場から、京都反戦青年委員会の事務局員として70年闘争時の京都の大衆運動を支えました。

「その間、羽田で亡くなった後輩の山崎博昭君のことは片時も忘れたことはありません」と、当プロジェクト賛同人になられた時のコメントにありました。

その後、医者としての活動に専念し、1981年からは国立ハンセン氏病患者施設の職員として大島青松園、多摩全生園、星塚敬愛園で勤務。

鹿児島県鹿屋市の星塚敬愛園では1992年から園長を務め、患者からの要望で定年後も2年特例として続任しました。

2002年退官後も、鹿屋で現役医師として最後まで地域医療のために献身しました。

60年安保ブントの関西組最長老の立場にあり、島成郎氏や唐牛健太郎氏を囲む同窓会＝六月会を組織するなど、世話好きな性格で、「今ちゃん」の愛称で多くの人から慕われました。

私たちプロジェクトがモニュメント建立のため、皆さんに新たにカンパを要請した際には、「南の方の鹿児島で現役でやっているため、なかなか関西や東京には出ていけないので、せめてカンパでも」と、追加カンパを寄せてくださいました。またベトナムツアー企画支援のクラウドファンディングの際にもカンパを寄せてくださいました。

山崎君に寄せ続けた今泉さんの心はいかばかりだったのかに思いをいたし、今泉さんのご協力、ご支援に心から感謝し、ご逝去をお悔やみ申し上げます